

農業委員会だより



賣布（ひめふ）神社春祭り（久美浜町女布）

写真提供：越江雅夫さん（久美浜町）

● 目 次 ●

2~3P **「農を語る」** LOHAS くるみ谷オーナー 飯島 篤さん

4~5P **密着取材** 担い手養成実践農場で研修中の岡田芳洋さん
奮戦記

6P **ぼいすー声ー** 「蘇る竹野沖田」 大下省三委員

7P 獣害を防いで耕作放棄地をなくそう！！

9~10P **京丹後アグリ瓦版** 新茶刈取り作業
田植え実習 大宮第二小学校
自慢のトマトでレシピ開発
吉津の穴地藏

10P **京丹後紀行** 羽衣天女と清水戸
お米推進レシピ 「天むす」



来見谷の秋風景



看板犬 クッキー



オーナー

飯島 篤さん (弥栄町須川)

LOHAS^{ロハス}くるみ谷

素のままの自分に戻れる場所、
多くのお客様がそんな気分になれます様に

民宿や農家レストラン等において、観光客に提供するために規制緩和されている「どぶろく特区」。特区認定後いち早く酒造免許を取得し、製造を始めた「野間どぶろくの会」三軒の内の一軒「LOHASくるみ谷」のオーナー飯島篤さんに、二度お会いしました。

一度目は雪壁一メートル五〇センチはあろうか、大雪の一月、二度目は新緑まぶしい六月、し尿を自家処理され、それを肥料化して育てた甘くて酸っぱいイチゴをご馳走になりながらお話を伺いました。

【人生楽事】

飯島さんは都会の暮らしの中で、人間として本当の豊かさとは何かとずっと考え続け、仕事で丹後半島へ赴任、地域の人々との交流を深めながら移住の準備に十年を費やし、二〇〇九年秋、築一〇五年の古民家を再生した田舎体験の宿「LOHASくるみ谷」を弥栄町野間の山奥に開設しました。「お客さまには、体験・体感・感動を、更に、空気・水・自然の豊かさを感じ、今一度、働く意味

■プロフィール
1955年 名古屋生まれ
1974～2008年 京都生活協同組合に勤務し店長、支部長、広報、管財などを担当
1999～2000年、丹後支部への赴任をきっかけに、丹後半島への移住計画を立てる。
2008年末、来見谷へ移住、LOHASくるみ谷立上げのため早期退職
2009年10月、LOHASくるみ谷オープン
■趣味：空手道・写真・音楽鑑賞・バイクツーリング等多彩

LOHASくるみ谷にて



LOHASくすみ谷全景

を考えてもらいたい。」そんな思いから始めました。

また、「私の趣味であるオーディオ・写真・バイクライダー等の仲間をゆつくりと時の流れる山奥へ取り込み、郷土料理と一緒に味わってほしい。」

このように、サービスの付加価値を求めると共に、新たな開発

販売、地域の活性化の可能性を期待されているのが、どぶろくの「人生楽事」です。

【そして笑顔】

「野間どぶろくの会代表で製造拠点の農家民宿「温古里」で造るどぶろくは今年一月下旬から試作品の仕込み作業を始めました。原料となるお米は地元産

コシヒカリ。仕込から完成まで白杉酒造(株)代表の白杉悟さん(大宮町周枳)がアドバイスしてくださいました。

分量を変えて甘口と辛口の二種類をアルコール度十二度から十七度、真っ白なお粥さんの少し濃い目って感じです。火入れをしない生のだぶろくは正に生き物。瓶詰めされた後も麴や酵母菌は生き生きと活動しお酒づくりに励んでくれます。だからお酒の味も毎日変わっていきま

す。これこそどぶろくの醍醐味です。」と語る



どぶろくづくりのみなさん
左から、飯島さん・松村文雄さん・日達ゆみ子さん・白杉悟さん・日達初夫さん

飯島さんの幸せそうな笑顔。その笑顔の中には、いつも自分の思い通りに毎日をすごさせてもらっているパートナーに対しての愛情が見えました。

奥さまは、「宿泊されたお客さまにゆつくりしてもらえよう、

余り忙しくならない方が嬉しい。」とのお気持ちだそう。

(取材 川神明美委員)

LOHASくすみ谷ホームページ <http://www7.plala.or.jp/lohas-kurumidani>

解説

【人生楽事】

(じんせいらくじ)

中国の水墨画家である王子江(おうすこう)画伯の代表作の一つ。そこには人々が食卓を囲み酒を酌み交し、語り合う風景が生き生きと描かれています。「豊かな食、旨い酒、飲んで語り合えば人生たのしい!」これがどぶろくのネーミングのイメージとなりました。

【くすみ】

日本酒と同じく米麴、蒸し米および水で仕込むが、発酵してできたもろみ(米粒や麴、酵母)を濾過・火入れすることなくそのまま飲む酒。

|密|着|取|材|

担い手養成実践農場で研修中の 岡田芳洋さん奮戦記

今年度の農業委員会だよりでは、この春、府立農業大学校を卒業し新規就農に向け網野町の谷芳農園で研修中の岡田芳洋さんに前19号の応募に基づいて1年間の密着取材をします。



左、岡田芳洋さん、右は後見人の梅田委員

祖父・伯父の 姿を見て

非農家である芳洋さんが農業を目指した動機は、母親の実家が谷芳農園であり小さい頃から手伝いを行い、農業をしている祖父・亡谷口芳之助さんと伯父の隆光さんの姿を見て就農を決意し、綾部市にある京都府立農業大学校へ進学し、農業生産・経営の基礎知識の習得と共に専攻として花卉栽培にかかる技術・知識を学びました。

目標とする 農業経営は

パイプハウスを活用して花卉・野菜の栽培を行い経営の中心としたい。また、市場出荷とあわせて、技術指導者でもある叔父（谷口隆光さん）が所有する直売所でも販売をさせてもらい、安定的な農業経営を図ることを目的としています。

●プロフィール

おかだ よしひろ

岡田 芳洋 さん 20才（網野町浜詰）

平成21年3月 京都府立網野高等学校卒業

同 年4月 京都府立農業大学校入学

平成23年3月 同 校卒業

同 年4月 担い手養成実践農場でビニール

ハウス2棟（600㎡）

谷芳農園で研修開始

ハウス・露地栽培の研修

●谷芳農園の状況

水稻3.6ヘクタール J A、浜宗へ出荷

ハウス栽培 約40棟

オリエンタルユリ22棟（70アール）

市場出荷

トマト7棟 直売

露地栽培 メロン（新芳露）40アール 直売

その他 甘藷等

労働力 谷口隆光さん 奥さん

雇用2名 合計4名



さあ、がんばるぞ！【実践農場でのハウスの建設中】

現在の研修計画している作物は

スイカ・ユリ・シクラメン・イチゴの

栽培を行い、年間を通した作付けが行えるよう計画しています。

日々勉強しています

農大での勉強では経験できなかった生産・出荷に掛かること（青果市場との交渉、消費者が必要としている作物の情報収集など）を

含めた農業経営について実際の技術指導者である谷口さんからしっかりと学んで行きたい。

また、農大の時の先生が今年4月の人事異動により、京都府丹後農業改良普及センターに移動され、作物の状態がおかしい時や病気が発生したときなど、電話やメールにより相談に乗ってもらっています。

谷口さんから一言

研修が始まって日が浅いなか、今はまだ右腕までとは言わないが、左腕として頑張ってくれていて頼もしい。

父（芳之助さん）も、孫が農業を目指すということで一緒に仕事をしよう大変楽しみにしていたが、昨年の10月に他界し残念がっていると思います。

【担い手養成実践農場とは】

地域の皆様の協力の下に、京都府、（社）京都府農業総合支援センター（旧（社）京都府農業開発公社）、J A 京都、京丹後市等が密接に連携して、新規就農希望者を技術習得から就農まで一貫して支援し、将来の地域農業の担い手を育成しようとするものです。

研修生が一日も早く地域で活躍できるよう、技術指導者及び担い手づくり後見人の選任を行っています。



左は谷口隆光さん

* * *

『農業委員会だより』では、プロの農家を目指して奮闘する若者の姿を追っていきます。

（次号へつづく）

全国農業新聞



全国農業新聞を購読してみませんか？

全国農業新聞は公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

週刊 金曜日発行 月600円、年7,200円（消費税込み）



大下省三 委員

「蘇る竹野沖田」

竹野沖田宮農組合の紹介

竹野沖田地区は丹後町竹野・宮・筆石・間人の4集落にまたがる竹野川下流に位置し、基本的には1ha区画のほ場で40区画35haとなっています。

「竹野沖田宮農組合」は、昭和初期に区画整理した一反ほ場を平成17年3月に府宮による再ほ場整備が完了し4月に発足したもので、組合自体による営農活動は行っており、土地改良施設の維持・管理を行っているところです。

「高生産性農業集積促進事業」に取組み、2名の法認定

農家により68%の集積を行い、連反化による作業効率が高くなり、若い後継者が生まれています。

当時の耕作者は、法認定農家2名(16.4ha)、地域認定農家3名(5.1ha)、一般農家7名(4ha)と飼料稲等主食用米以外の作物8.8haを共同で耕作していました。

事業採択要件を満たすために米以外の作物8.8haについて、耕作地の割り振りを行っており、平成22年度は2つのグループで飼料稲5.3ha、小豆0.7ha、飼料米1.8

ha、飼料作物1.0haを栽培しました。

私は、地権者ではありませんが耕作はしております。

そんな私ですが初代組合長を3年仰せつかることとなり、その後は、庶務会計事務を担当しています。

この間、多くの問題がありましたが、皆んなの力を合わせることで、難関を克服し、現在では担い手を中心に効率的な耕作体制が出来上がりました。

厳しい農業環境の中で、地主・耕作者が再ほ場整備をして良かったと思っています。ただ、このような「竹野沖田宮農組合」の運営に農業委員として微力ではありますが頑張っていきたいと考えています。

農業者年金

しっかり積み立て、がっちりサポート

担い手積立年金

「担い手積立年金」は農業者年金の愛称です。

あなたの老後生活への備えは十分ですか？

年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です！

老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です！

公的年金ならではの 税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額(年額12万円～80万4千円)が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税(支払った保険料の15～30%程度)につながります(民間の個人年金の場合は、控除額の上限は5万円です)。また、保険料などの年金資産の運用益は非課税です。

さらに、将来受け取る農業者年金は、公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が120万円までは全額非課税となります。

■保険料支払いによる節税効果の試算(所得税・住民税)

税 率	保 険 料 の 額 が		
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額5万円 (年額60万円)の場合	月額6.5万円 (年額80.4万円)の場合
15%の場合	36,000円	90,000円	120,600円
20%の場合	48,000円	120,000円	160,800円
30%の場合	72,000円	180,000円	241,200円

●各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

獣害を防いで耕作放棄地をなくそう!!

近年、獣害がひどくて耕作を放棄される農地も少なくありません。そこで、農林水産環境部農林整備課鳥獣対策係からアドバイスをいただきましたので、参考にしてください。

イノシシ、シカの侵入を防ぐ
ワンポイントアドバイス

知らないうちに有害鳥獣を集落や農地に誘引していませんか。

野菜クズ、生ゴミ、稲刈り後に伸びるヒコバエ、柿の木などを集落内、農地やその周辺に放置していませんか？

電気柵や金網柵を設置して、農地への侵入を防ぐ。

電気柵や金網柵は個人個人で取り組むより集落全体を囲うように計画するほうが効率よく農地を守ることができます。

イノシシやシカは柵の弱点を見つけだして農地に侵入し、手塩に掛けて育てた作物を一夜にして全滅させるケースもあります。定期的に草刈りや見回り点検をするようにしましょう。

気付かぬうちに餌付けしています



農地に放置された野菜クズ

イノシシに入られたら
すぐ補強せなあかん!

ワンポイント

設置後は点検、補修を即座に行います。



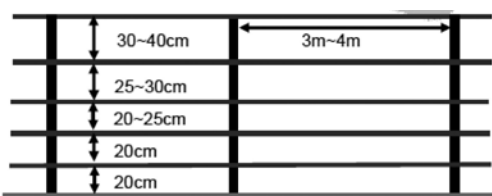
●金網柵

金網のたるみに注意しましょう。支柱間隔が広いと金網のたるみの原因となります。



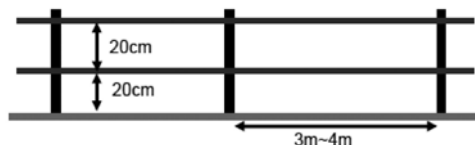
●電気柵

シカ用電気柵〈設置例〉



◆慣れると跳び越えによる侵入も発生するので、跳び越えも想定し、2m以上の支柱を用意しておく。
(空中で柵線に触れても電気は通りません。上部に追加した線は、通電不要です)

イノシシ用電気柵〈設置例〉



◆イノシシの剛毛は電気を通しにくいので、鼻に当たるように意識して設置。
◆凹地もふくめ、下段の柵線は地面から20cmを保持
◆柵線は、支柱より獣側(外側)に設置
◆上から越えられそうな場所は、3段柵にする。
◆こまめな管理で、電圧は4000V以上を保持する。

ワンポイント

ガイシを外側に向けて設置していますか？
ガイシを内側に向けて設置すると、イノシシは通電せずに支柱に触れることができ、支柱を踏み倒して侵入します。
ガイシは外側に向けて設置しましょう。

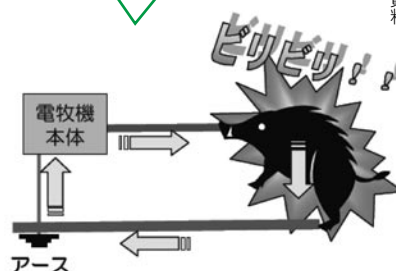


○ガイシを外側に向けて設置している



✗ガイシを内側に向けて設置している

イノシシの鼻に
当たるように設置し、
こまめな草刈で電圧を
維持しましょう。



※京都府提供資料

お問い合わせ先 京丹後市農林水産環境部農林整備課鳥獣対策係 TEL0772-69-0430 FAX0772-64-5660

新茶の刈取り

今 年の新茶は、雪害による一部影響もありましたが、特に大きな被害もなく、品質重視の摘採を心がけ、京丹後産のお茶のイメージアップにつとめました。



田植え実習

大宮町奥大野地区

大宮第二小学校



植え方の注意点

- 3から4本つつ
- こけなない様に
- 泥から2から3cm差込む
- 足跡がつくので足跡部分には植えない

今後は、秋の収穫を楽しみにみんなで楽農倉垣のメンバーへ「ありがとうございます。」と大きな声でお礼をいい、泥まみれの足で学校へ戻っていきました。

最初はなれない手つきでの作業でしたが、終る頃には皆、上手に植えることが出来ました。

今回植えられた稲はもち米（新羽二重）で、約450㎡を1時間程度で終了し、子供たちから野村さんへ「米を作るときに大切なことは？」「田んぼを作るうえで一番困っていることは？」などの質問があり、「作物も生き物であり人間と同じで食べ過ぎないように作物の様子を見て肥料や水をやる事が大切であること、また、鹿・猪による獣害に困っている。」ことなど子供たちの質問に答えておられました。

5 月20日（金）夏日とも思える晴天の中、楽農倉垣「らくのうくらがき」のメンバーの指導により、大宮第二小5年生児童18名と谷川恵子担任教師による田植え実習が同小学校付近の野村拓司さんの水田で行なわれました。

田植えに入る前に水田提供者の野村さん（大宮町奥大野）から3〜4本つつ指先に掴み、泥の中へ2〜3cm差し込むなどの説明を受け、はだしになって田んぼの中へ入りました。

久美浜町施設園芸部会



テレビでも紹介!!

自慢のトマトでレシピ開発



久

美浜町施設園芸部会（小西康之会長）は平成

7年から五戸の組合員によりコンピュータ制御のロックウールベットでトマトの周年出荷に取り組まれています。主に京都市場に出荷され、その品質は京都市場において、トップクラスの折り紙付です。そんなトマトをさらに有利販売と消費拡大をするために施設園芸組合女性部ではトマトのレシピ開発を行いました。五月下旬と六月上旬に「トマトレシピ会議」を開催し、いつも家庭で作っているアイデアトマト料理を持ち寄りました。

また、そのレシピが6月27日放送の関西テレビの「よいいドン産地の奥さんごちそう様」でも紹介されました。

簡単に作れますので、色々なトマト料理を試し、この夏を乗り越えていただけたらいいと思います。

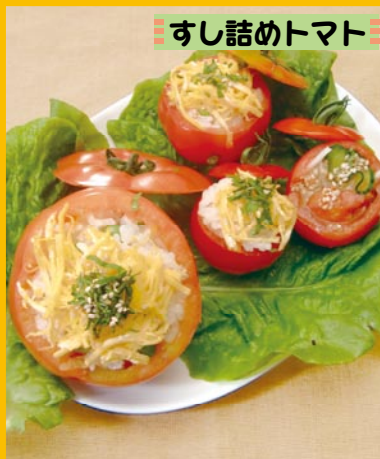
和風トマタマ炒め



ダブルトマトのコンソメスープ



すし詰めトマト



冷製トマトの和風漬け



吉津の穴地蔵

弥栄町吉津

4

月17日、京丹後市弥栄町吉津で穴地蔵祭りが行われた。

昭和42年の住民の離村で途絶えていましたが、平成2年に穴地蔵をテーマにした絵本が出版されたことをきっかけに復活しました。

今年は、絵本を基にした紙芝居の上演もあり、琴が演奏される中、正統の丹後弁で語られる物語に全国から集まった人たちは故郷吉津への思いを胸に、熱心に耳を傾けていました。



紙芝居 語り手 小山るみさん
琴演奏者 糸井たまきさん

京丹後紀行

「羽衣天女と清水戸」
せいすいど



モニュメント作者は田中増三さん

平成2年、峰山町時代に設置した、いさなご山山頂にある羽衣天女のモニュメント

いさなごや

種をひたする清水戸
五穀始まる これぞ苗代

清水戸は、峰山町二箇苗代集落の中、双つの道の角にある。井は、石で以って囲われ、一方には、古くからの杉垣がある。古老の井上卓夫さんに案内を請うと「ここは大昔、伊佐奈古獄に降りたった羽衣の天女（豊受大神）が、はじめてこの地で稲作を試みたときに籾種を浸したところ、という言い伝えがある」と教えて下さった。井上さんは「この水で茶を入れると大層、美味であった。」とおっしゃっていて、前出のいさなごや——の古歌を披露された。

また、近くには、天女が水稲を作ったという言い伝えもある「月の輪田」もある。

我が国へのイネの伝来は、中国大陸から対馬暖流によつて九州北部へ——とか、西南諸島をへて黒潮に乗って九州南部へ——とか、他にも諸説があつて、定説には至っていない。

また、日本列島における稲作の歴史は、長きにわたつて弥生時代に始まったとされてきたが、近年の遺跡発掘調査から、縄文時代の中葉（紀元前三五〇〇年前）には、陸稲の栽培が行われていたことが明らかにになった。これらの学説の行方も興味深い。

しかし、丹後の美女「ええによぼ」の源は「羽衣の天女」だと思ふ筆者には、天女が、この丹の国「田庭の里」に稲作を広め、土地はおおいに潤い、富み栄えたという話の方が、ロマンがあつてずっと／＼楽しい。

文 鴨田忠司



材 料（1人分）

ご飯・黒ゴマ・えび(小)3尾・小麦粉・米粉・揚げ油・焼き海苔
④しょう油・みりん・酒……各大さじ1杯と2分の1

天むす

米粉を衣に!!



作り方

- 炊き上がったご飯に黒ゴマを混ぜておく。
- 小麦粉と米粉を2：1の割合で水にとく。
- えびの皮をむいて米粉をまぶし、②の衣をつけて揚げる
- 鍋に④を合わせ少し煮詰めて③をからめる。
- ④を中心にしておにぎりを作り、のりを巻く。ふき煮、お漬物を添える。

ひとこと

未曾有の大震災、心よりお見舞い申し上げます。ある意味、東北からいろんなメッセージをもらいました。今一度、食の大切さをも考える機会にしたいですね。



川瀬委員

お米推進レシピ